

第174回教育研究評議会議事録

- 1 日 時 平成30年10月18日（木）13時15分～14時25分
- 2 場 所 本部大会議室
- 3 出席者 森脇，福井，江馬，野々村，鈴木，大藤，林，王，別府，山田，富樫，洞澤，
岩間，中島，村井，板谷，杉山（代理：志水），光永，千家（代理：平松），
丹羽，益川，栗屋，山本，野村，細野の各評議員
オブザーバー：吉田，松原
- 4 第173回の議事録を確認した。
- 5 報告事項
 - （1）平成30年度第7回教学委員会（10／16）について
江馬評議員から，レジュメに基づき報告があった。
 - （2）役員会報告について
議長から，資料1に基づき報告があった。
 - （3）教育職員の雇用について
議長から，資料2のとおり教育職員を雇用した旨の報告があった。
- 6 審議事項
 - （1）地域科学部の学位授与に関する教育研究評議会の方針について
審議に先立ち，福井評議員から，地域科学部の学位授与に関して，平成30年9月20日（木）開催の教育研究評議会における審議の結果を踏まえ，学長から地域科学部教授会に対して改めて意見を求めた以下の方針について，地域科学部長からの説明を求める旨発言があった。
 - ① 平成18年度の2学科改組に従って，地域政策学科と地域文化学科に教育課程を置くこと。
 - ② 学科ごとに履修単位基準を定めること。
 - ③ これらを地域科学部規程に記載するとともに，履修の手引においては，学科とコースの関係を明確かつ分かりやすく記載すること。続いて，富樫評議員から，資料3に基づき説明があり，審議の結果，上記3点について，教育研究評議会として決定するとともに，学長の指示の基に，本方針に係る岐阜大学の対応案を次回の本会議において示すこととした。
 - （2）新学部を設置及び地域科学部に関する方針について
福井評議員から，資料4に基づき，新学部を設置及び地域科学部に関する方針について，これまでの部局長・部長会での検討経緯を含めて説明があり，審議の結果，以下の方針につ

いて、学長から地域科学部教授会に対して文書により意見を求めることとした。また、福井評議員から、本方針及び新学部設置準備委員会が検討する新学部の構想の両方について、同時に検討を進めたいとの発言があった。

- ・新学部（仮称・経営学部）の新設に伴い、地域科学部を再編整備する。
- ・新学部は平成33年4月を設置予定とし、同年3月をもって地域科学部名での学生募集を停止する。
- ・新学部の入学定員は130名とする。

（3）フエ大学（ベトナム）との大学間学術交流協定締結について

鈴木評議員から、資料5に基づき、国立大学法人岐阜大学とフエ大学との間における大学間学術交流に関する協定書について説明があった後、協定を締結したい旨の発言があり、審議の結果、了承され、役員会に附議することとされた。

（4）東海国立大学機構（仮称）について

議長から、資料6に基づき、東海国立大学機構（仮称）について、名古屋大学との間での検討状況、関係各所への説明状況について紹介があった。続いて、大藤理事から、文部科学省において「国立大学の一法人複数大学制度等に関する調査検討会議」を設置し、有識者の協力を得て、一法人複数大学制の導入等について国として整理しておくべき事項を整理・検討している旨の説明があった。最後に、学長から、今後の検討において、日程の都合上、教育研究評議会の審議に間に合わない場合は、メールにより各評議員へ確認を求める可能性があるため、その際の協力について依頼があった。

7 その他

野々村理事から、キャンパス情報ネットワーク更新について各部局等の協力に対する謝辞があった。

8 次回の開催について

- （1）次回は、11月15日（木）13時30分から大会議室において開催することとされた。